

論 文 内 容 の 要 旨

**Gremlin, a Bone Morphogenetic Protein Antagonist, Is
a Crucial Angiogenic Factor in Pituitary Adenoma**

下垂体腺腫における血管新生に BMP のアンタゴニストである

「Gremlin」が関わっていることの研究

日本医科大学大学院医学研究科 神経病態解析学分野

大学院生 瀬 瀬 健 太

International Journal of Endocrinology Volume 2015, Article ID 834137, 7 pages

<http://dx.doi.org/10.1155/2015/834137>

Accepted 16 February 2015

【目的】 β は シグナル経路の中で α □であり、胎生期の骨格(骨・軟骨)形成を抑制することが知られている。近年こ β は肺癌、糖尿病性腎症において、血管 β を制御する という報告 があるが、下垂体腺腫における機能は未だに検討されていない。今回我々は下垂体腺腫に β の発現の意義、
与 β 陽性細胞(骨髄に由来する血管内皮 β は 年、浅原らにより末梢血中の単核 部 β 陽性分画 として存在することが証明され、また既存隣接血管の血管内皮細胞による増殖、遊走により成 β のみならず、胎児期のみ存在する β の機序が 成体でも成立していることが証明された。)との共存を証明し検討したので報告する。

【方法】 当施設での連 下垂体腺腫 例 症 女性 例、男性 例)の病理組織標本を成し下垂体腺腫組 免 β の 共 β 例を用い、内因性(ローディン β β ロー の の β β を行 例 例、 例)。

】下垂体腺腫組 β 発現細胞 β との共 β では β の発現は β の発 β 管新生に関 いる β 発現細胞と β の強い共 β 、年齢、性、 β とは β られなかった。

【結 β 下垂体腺腫の血管新生を β している可能性が示唆された。